

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭子育て支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	生後6か月から小学校6年生までの子どもを養育するひとり親家庭を対象に、たかまつファミリー・サポート・センターの利用料金の一部を助成する。 対象者（すべてを満たすもの） ・高松市在住で、生後6か月から小学校6年生までの子どもを養育しているひとり親家庭 ・たかまつファミリー・サポート・センターの援助会員登録をしている人 ・市税を滞納していない人				
2年度概要	たかまつファミリー・サポート・センターの利用会員のうち、ひとり親家庭を対象に利用料金（1時間700円）の一部を助成する。 助成額 1時間当たり400円（子ども2人目以降は1時間当たり200円。1か月8,000円を限度に助成。）				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親
意図（どのような状態にしたいか）	経済的に不安定な状況におかれているひとり親家庭の、就労支援や育児の負担軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
利用登録者数	人	47	54	47		45

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
利用時間数	時間	目標値	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100
		実績値	1,227	1,428	1,206.5		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 利用時間数について、実利用者の需要が多かったため、目標値を上回った。 (目標達成度)						(達成度) 109.7%	
							35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値					
		実績値					
							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	2,053	2,106	2,043	2,117
（事業費）	[円]	536	594	525	599
（職員人件費）	[円]	1,517	1,512	1,518	1,518

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 市単独の事業で実施しており、ひとり親家庭等のファミサポ使用者に対し補助金を交付した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 子育ての援助をしてほしい人と、援助したいひととが会員となる組織（たかまつファミリー・サポート・センター）が行う事業への助成であり、事業対象者の絞り込み等内容の検討は必要であるが、今後も事業を継続する。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭等医療費助成事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子（子は原則18歳年度末まで）を扶養する配偶者のいない兄・姉等を対象に県内現物、県外償還で保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成 県費補助対象額の1/2（県制度は自己負担有）				
2年度概要	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子を扶養する配偶者のいない兄・姉等を対象に県内現物 県費補助対象額の1/2（県制度は自己負担有）				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内在住で保険証を持っている方で母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子、両親のいない子を扶養する配偶者のいない兄・姉等 （子は原則18歳年度末まで）
意図（どのような状態にしたいか）	医療費に係る経済的な負担の軽減を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
支払件数	件	153,064	150,767	149,190	148,116	148,116

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
				目標値				
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	456,145	451,212	452,459	449,088
（事業費）	[円]	439,454	434,576	435,765	432,394
（職員人件費）	[円]	16,691	16,636	16,694	16,694

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 本事業の実施により、ひとり親家庭等の医療費に係る経済的な負担を軽減している。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 所得制限も実施されており、財政的に厳しい状況の中、現状維持が妥当である。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭自立支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ひとり親家庭等の相談に応じ、その自立に必要な情報提供および指導を行うため、自立支援相談事業として、母子・父子自立支援員を配置する。また、ひとり親家庭の総合的支援のため、窓口強化事業として就業支援専門員を配置する。				
2年度概要	母子・父子自立支援員（非常勤嘱託職員）3人により自立支援相談を行う。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）		

【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭等
意図（どのような状態にしたいか）	ひとり親家庭等の親からの相談に応じ、必要な情報提供及び指導を行い、ひとり親家庭の自立を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
母子自立支援相談件数	件	1,401	1,671	1,264	1,500	1,500

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
母子自立支援相談解決件数	件	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		実績値	1,562	1,671	1,264		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値を下回った。平成30年度に比べ減少したことについては、他機関との密な連携による相談回数の減少や、各個人の状況に応じた確かな相談体制を案内していることや、同一相談者への複数回にわたる対応等が原因として考えられる。	(目標達成度)						(達成度) 84.3%
			29点				
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	14,442	15,317	14,614	13,660
（事業費）	[円]	10,648	11,536	10,820	9,866
（職員人件費）	[円]	3,794	3,781	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
相談者の相談内容が複合的であり、複数の相談課にまたがるような場合の対応が課題である。（どこが主体になるのか。どこまでかわるのか等）			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
県やその他機関の実施する自立支援相談員の研修等を受けスキルアップを図りながら相談業務に従事しており、今後も同様に事業を継続することが必要である。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	母子家庭等就業・自立支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「母子家庭等就業・自立支援センター事業」では、ひとり親を対象に就業支援講習会事業を開催する母子・父子福祉団体に事業を委託する。また、離れて暮らす親と子どもの面会交流のための連絡・調整、子どもの受け渡し、付き添い、見守りを行うNPO法人に対して、業務委託を行う。その他、「ひとり親家庭等日常生活支援事業」では、就職活動や疾病等の事由に対し、家庭生活支援員を派遣し、短期間を限度として一時的な家事・介護等のサービス提供事業を、母子・父子福祉団体に委託する。				
2年度概要	母子家庭等就業・自立支援センター事業（委託先 香川県母子寡婦連合会） 面会交流支援事業（委託先 NPO法人面会交流支援センター香川） ひとり親家庭等日常生活支援事業（委託先 高松市社会福祉協議会）				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

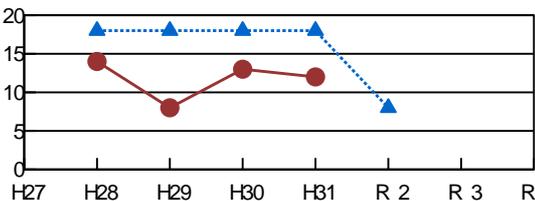
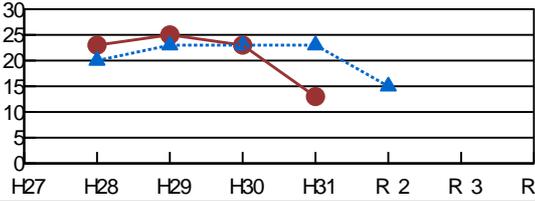
【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親
意図（どのような状態にしたいか）	ひとり親家庭の親の自立支援・就労支援を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
講座実施回数	回	37	37	36	13	37
家庭生活支援員派遣回数	回	255	391	151	190	190

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
講座受講申込者数	人	目標値	18	18	18	8	8
		実績値	8	13	12		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 介護職員初任者研修など就労に結びつく可能性が高い研修を開催しているが、期間が2か月と長期にわたることなどから申込者数が目標値に届かなかった。 		(目標達成度)					(達成度) 66.7% 23点
ひとり親家庭等日常生活支援事業利用登録者数	人	目標値	23	23	23	15	15
		実績値	25	23	13		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 利用者登録は利用の有無に関わらず継続して登録を行っており、複数年にわたって利用していない者もいたため、平成30年度に見直しを行い、目標値に届かなかった。 		(目標達成度)					(達成度) 56.5% 19点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	9,044	9,135	8,145	6,129
（事業費）	[円]	6,009	6,110	5,110	3,094
（職員人件費）	[円]	3,035	3,025	3,035	3,035

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

利用者登録は利用の有無に関わらず継続して登録を行っており、複数年にわたって利用していない者もいたため、平成30年度に見直しを行い、令和元年度からは未就学児を有する家庭の一時的な利用は概ね3月とし、やむを得ない理由がある場合に限りて延長を認めた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

日常生活支援事業では昨年度整理した事業方針に基づき、事業を運営していく。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭無料職業紹介事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	・自立支援プログラム策定事業 ・個々の児童扶養手当受給者の状況等に対応した自立支援プログラムを策定し、これに基づき、決め細やかで継続的な就労支援を実施する。 ・ひとり親家庭無料職業紹介事業 ・こども家庭課内に職業安定法第33条の4第1項の規定による無料職業紹介所を開設し、児童扶養手当資格者に対し、職業紹介や求人情報の提供などを行う。		
2年度概要	母子・父子自立支援プログラム策定員兼就業支援専門員2人（会計年度任用職員）を配置し、児童扶養手当受給者等を対象に就労に係るプログラム策定を行う。 また、サポーター企業からの求人を紹介、斡旋するひとり親家庭無料職業紹介を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親、離婚予定の親等
意図（どのような状態にしたいか）	就職が困難なひとり親家庭の生活の安定と福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
就労相談人数	人	1,369	1,415	1,356	1,500	1,500

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
自立支援プログラム策定件数	件	目標値	130	130	130	130	130
		実績値	94	79	87		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値に達しなかった。プログラム策定可能者（児童扶養手当受給者等）が限定されていることや労働市場が売り手市場であり、支援対象数が減少していること等が理由であると思われる。なお、プログラム策定後のアフターフォロー件数は8件であった。		(目標達成度)					(達成度) 66.9% 23点
職業紹介件数	件	目標値	4	4	4	4	4
		実績値	6	15	9		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値である4件を上回った。		(目標達成度)					(達成度) 225.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	11,044	11,011	11,229	11,708
（事業費）	[円]	5,733	5,718	5,917	6,396
（職員人件費）	[円]	5,311	5,293	5,312	5,312

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

各人の状況に応じた自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を実施した。また、本庁舎3階ジョブコーナーとの連携により、職業紹介や求人情報の提供などを行い効果的に支援した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

売り手市場においても、就労にあたっては不利になる可能性があるひとり親家庭の親の就労支援については一定の需要があり、事業継続は必要である。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園運営課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2358
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	発達障がい児等支援事業（こども園運営課分）		事業期間	平成24年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、市内の公立保育所及び公立幼稚園に発達障がい児等支援員を配置し、早期に専門的な保育・教育支援や親子支援を行うとともに、私立保育所に対して、要支援児童を保育するための必要な経費の一部を支援するほか、専門家による継続した訪問支援を行い、具体的な指導を行うなど、関係機関と連携しながら適切な支援体制を整備する。				
2年度概要	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所及びこども園36か所に62人、公立幼稚園21か所に41人、支援員を配置 私立保育所の要支援児童保育に対する助成 発達障害児当支援体制構築事業 巡回支援員（専任）50施設 150回訪問 報告会の開催（4回）教職員研修の実施				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型			

【事業の目的】

対象（何を）	市内の公立保育所及び公立幼稚園に在園する乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	主に、支援の必要性や緊急性の高い乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
発達障がい児等支援員配置施設数	か所	60	60	60	58	60

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	発達障がい児等支援員配置率	%	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	100	100	100				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園において、すべての施設について支援員を配置できている。 (目標達成度)							
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	168,218	168,034	168,833	136,032
（事業費）	[円]	166,701	166,522	167,315	134,514
（職員人件費）	[円]	1,517	1,512	1,518	1,518

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

各施設に支援員を配置し、関係機関等と連携を図りながら、早期に対応することで、支援を必要とする乳幼児一人ひとりのニーズに応じた教育・保育環境を提供することができた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

当該事業のうち特に平成26年度から実施することになった発達障がい児等支援体制構築事業等の効果を分析し、より効率的な事業運営となるよう取り組みたい。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	発達障がい児等支援事業（こども園総務課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、私立保育所等に対して、要支援児童を保育するための必要な経費の一部を支弁する。		
2年度概要	支弁対象施設34施設に58人		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	市内の私立保育園、認定こども園及び小規模保育事業所に在園する支援を必要とする乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	主に、支援の必要性のある乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
発達障がい児等受入施設数	か所			34	34	30

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	発達障がい児等受入率	%	目標値		100	100	100	100
			実績値		100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市内の発達障がい児受入可能な私立保育所、私立認定こども園及び私立小規模保育事業所において、当該施設に入所を希望する発達障がい児を受入できている。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]		10,784	11,341	10,657
（事業費）	[円]		10,028	10,582	9,898
（職員人件費）	[円]		756	759	759

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

主に、支援の必要性のある乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後も当該施策の状況を注視し、より効率的な事業となるよう取り組みたい。